

2017 Japan National Team Report ”選手”



報告者	クラブ 広島セーリングスクール 学年 中学1年 氏名 前田 月里		
大会名	2017 OPTIMIST EUROPEAN CHAMPIONSHIP		
開催地	ブルガリア共和国 ブルガス		
大会期間	7/30 ~ 8/6		
セールNo	JPN 3344	最終順位	73位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	気温30°以上。水温は冷たかった。 風が強い日はスプレートップが必要だった。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	午後から必ずシーブリーズが入ってきた。時間が経つにつれて、風は強くなり波も大きくなった。風の振れは小さかった。
セッティングで注意したこと	海上計測に備えて、ガラミの長さを調節した。
セーリングで注意したこと	波が大きかったので、1つ1つの波を逃さないようにサーフィンした。
海上で練習したこと	セーリング練習。 多くの国が参加するレース練習に入ったが、スタートがめちゃくちゃで練習にならなかった。

実際のスベリはどうでしたか？	ボートスピードの差はあまりなかった。 ただし、他国の選手の方が角度が良かった。
スタートは、どうでしたか？	スタートは難しく、苦労した。 他国の選手にガードされて、なかなかラインに入ることができなかった。 大きな声で威嚇する選手も多かった。
コース戦略はどうでしたか？	長い方のレグを先に走った。 風の振れに合わせて、マークに近づく方で走った。
自分より上位の選手との違いは？	タックのやり方が違った。タックで加速していた。
国内の練習で役立ったこと	セーリング練習。 長い時間、スピードをキープできるように練習した。
国内の練習で足りなかったこと	大人数でのスタート練習。
印象に残った外国選手は？	アルゼンチンの優勝した選手。 コース取りが上手かった。
行く前と、行ってからで違ったことはありませんでしたか。	スタート技術。 自分のルームをどのようにガードするべきかよく分かった。
今後の課題と目標は？	大人数の中のスタートで、有利なサイドで一列目から出られること。
JODA への要望	特になし。
その他	体調を崩した時に、サポーターの人が作ってくれた食事がうれしかった。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会